

え みやしろしゅうへい くん (5さい)

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会  
2016年4月1日  
……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち

千葉県松戸市日暮 7-344 ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション

千葉県松戸市河原塚 394 エコピア3 番館 101 ☎047-701-5559

あんず居宅介護事業所

千葉県松戸市河原塚 394 エコピア3 番館 101 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず

千葉県松戸市河原塚 394 エコピア3 番館 101 ☎047-701-5506



★幸樹会建設基金募集中です

**建設ニュース** 看多機等複合施設

3月で基礎工事がおわり、4月からはいよいよ躯体工事が始まります。毎週行われる建設会議では、サッシや扉、壁紙や手すり、幅木に至るまで様々なことが決まりました。実際に建物の中で働くスタッフからの活発な意見が出てきました。建設会社の皆さんも、意見をどんどん取り入れてくださり、働きやすい建物になりそうです。4月末には棟上げです。屋根まで出来上がり、建物の全体像がわかるようになります。

屋上には太陽光パネルと、プランター菜園を置き、利用者の方々が職員と一緒に活動できるスペースにしたいと思っています。竣工は7月31日です。



第2回地域交流カフェ  
「福祉用具・補助器具を知ろう」

4月19日(火)、午後1時30分から3時

場所:八柱市民センター2階

どなたでもご参加自由です。福祉用具をみたい・さわって、身近なものとして活用していきましょう。

# 事業所が増えて、 活気もあふれています！

## 幸樹会在宅部門座談会行いました

幸樹会は、からたち薬局、あんず訪問看護ステーション、介護ショップからたち、あんず居宅介護支援事業所、ケアステーションゆずを運営する法人となり、皆様のご要望により幅広く応えることができるようになりました。そこで、在宅ケア部門で働く職員が座談会をひらき、意気込みを語りあいました。

### 【参加メンバー】

中野三代子（幸樹会理事長・ケアステーションゆず管理者）

大塚かすみ（あんず訪問看護ステーション所長）

奥村万里子（あんず訪問看護ステーション副所長）

田中和世（あんず居宅介護支援事業所所長）

宮崎由香里（あんず居宅介護支援事業所ケアマネジャー）

富本克彦（ケアステーションゆずサービス担当責任者）

滝沢奈々（ケアステーションゆずヘルパー）

**中野**：幸樹会では、看護師・ケアマネジャー・福祉用具専門相談員・介護職がそれぞれ協力・連携して仕事ができるようになってきました。

今日は、そのあたりのことを具体的にお話してください。



**大塚**：これまで、あんず訪問看護ステーションは、医療保険で訪問看護を利用する利用者さんが多数でした。それがあんず居宅介護支援事業所（以下、居宅）

ができたことにより、介護保険で訪問看護を利用する利用者さんが増え、今では6割が介護保険の利用者さんになっています。訪問看護もケアプラン作成も同一法人で対応できるということで、医療機関等から



の依頼が更に増えています。導入時期の対応が素早くスムーズになっており、利用者・家族の皆さんにとっても役立っていると思います。また、要支援や要介護度の低い利用者さんについても、早期から関わることができるようになることは、予防的な意味も含めて意義が大きいと感じています。

**田中**：あんず居宅介護支援事業所を開設したばかりの1月から、新規問い合わせや相談が多くあります。訪問看護があるということがとても大きいです。訪問看護の併設居宅という事から、医療ニーズの高い方からの相談も多く寄せ



られ寄せられています。訪問看護があるメリットとしては、医療面での相談が出来たり、医療関係者との連携が取りやすいというところが大きいですね。

**宮崎**：サービスのご依頼、相談受付の時点で居宅と訪問看護ともにあんずに、というケースも珍しくありません。居宅と訪問看護が別の法人・事業所でも支援できないことはないのですが、併設であるメリットは「ケアプランの構成に無駄が生じないこと、的確なタイミングでベストな支援ができる」ということでしょうか。例えば「そろそろ床ずれ予防のマットに換えたほうがいいよ」という情報をいただければすぐに手配もできますし、同行訪問して、2職種のサービス担当者会議でプランの詳細を決定できたということもありました。訪問看護側からのケアマネとの連携についてはどうですか？



**奥村**：同感です。まず同じ事務所内であるため、訪問から帰ってきてすぐ顔を見て利用者さんの状態について話ができるという利点を実感しています。訪問看護が入る利用者さんの多くは、状態の変化が早いです。そのような場合、主治医は当然ですが、素早くケアマネさんと情報交換し、必要な福祉用具の手配や状態に合わせた支援計画の見直しを相談する必要があります。その点で、訪問時の細かい様子も伝えることがで

きて、私たち看護師にとっても利用者さん・ご家族にとっても心強い環境となっていると思います。

**田中**：看護師さんからの情報もケアプラン作成の参考にしています。ケアマネからの視点だけでなく、医療従事者としての視点もくわえる事により、



利用者の皆様にとって適切なサービスが受けられる事にもつながっています。福祉用具専門員もいるので、福祉用具の相談も法人内で出来ますね。他の事業所とも連携しているので、法人内だけでサービスを提供しているのではないのですが、内部に具体的な相談先があるのは心強いですね。3月1日にはケアステーションゆずがオープンして、ホームヘルパーさんたちのケアも始まってきましたね。



**冨本**：あんずのケアマネさんからの依頼で、利用者さんの訪問介護の活用が始まっています。私は介護職としての経験は施設介護としてはあるのですが、訪問介護は初めてでした。そのため戸惑うことは多くありますが、実際にご利用者の皆さんと関わることが出来るようになりとても嬉しく、毎日が勉強だと実感しています。

**滝沢**：私も訪問介護は初めてです。日々、看護師さんケアマネさんに沢山の事を教わり学んでいます。訪問は楽しいばかりではなく辛く厳しいものだとも実感しています。訪問時の限られた時間で、ケアの内容が決まっている中、どんな事ができるのだろうと考えながら、看護師さんと連携する事でケアの視点も広がってきています。看護師さん、ケアマネさんの記録も共有できるので、利用者さんの様子を詳しく伝える事ができるようにと工夫しています。

**大塚**：介護職の皆さんもすごく頑張っていますよね。ケアステーションゆずができて、サービスの幅が広がりました。生活支援という視点では、介護職の皆さんがプロです。訪問看護はやはり24時間365日の中でポイント的な支援しかできないことが多く、普段の様

子が把握しにくく、そこに介護の支援があったらよいのと思っています。また一つ在宅支援のサービスが増えたことは本当に心強く、みんなで連携できることが嬉しいですね。

最近、あんず居宅・ケアステーションゆずと一緒に関わらせていただいたケースは、退院直後の支援の依頼でしたが、入院前と全く変わってしまった状態で、自宅での介護にご本人ご家族ともに大きな不安を抱えられていました。その支援として朝から夕方まで生活スタイルにあわせた訪問対応で、日常生活の状況を把握し、ケアマネと介護職の方々が臨機応変に対応してきました。今は、落ち着いてご本人・家族のペースで療養できる環境になってきました。本当によかったと思っています。

私たち幸樹会は地域に必要とされるサービスを順調に開設してきていますが、どの事業も365日を私たちだけでは支援しきれないと思っています。そこは地域の方々の力をかり、近隣の医療機関・介護事業所の皆さんと協力連携して、この八柱の地域が住みやすい地域になるように、一緒に地域づくりをしていきたいですね。

**滝沢**：地域交流カフェや学習会などの行事も全職種が参加して、地域の人や利用者さんやそのご家族と触れ合う事ができて勉強になり、みなさんから熱い想いとパワーを頂き幸せを感じています。



**中野**：次の地域交流カフェは4月19日。今回は福祉用具について学ぶことをテーマにしています。介護ショップからたちが委託・連携している「福祉協同サービス」の方が、介護用ベッドや車いすなど、福祉用具活用のお話をしてくださることになっています。

**奥村**：介護保険で使える介護用ベッドも、ご自宅で暮らすとき、背上げや足上げ、高さの調整などができるベッドを入れてもらうと、安心できますよね。マットの硬さや種類も福祉用具専門相談員の方が考えて提案してくれます。4月19日は実際にベッドを持ってきて、マットも数種類持ってきてくれるそうですし、車いすも色々見せてくれるそうです。

**大塚**：介護職の中にも「福祉用具専門相談員」の資格

を取りたい、もっとステップアップしたいというやる気のある人が応募してきますね。

**中野**：色々な経験・資格・意気込みを持っている仲間が集まってきて、「その人らしく暮らし続けられる在宅ケア」をめざす仕事に活気が出てきています。

9月には「看多機さんしょう」もオープンします。

ご期待に応え、質の良い多機能なサービスが提供できるよう、みんなでがんばっていきましょう。

在宅療養



ケアマネ

「ケアマネジャーって何をしているの？」vol.2

—笑顔のケアマネの“真顔”の瞬間—

【あんず居宅介護支援事業所 宮崎由香里】

介護保険証を持った方を「被保険者」、我々ケアマネジャーは「利用者」と呼んでいます。利用者が介護保険のサービスを利用するには「ケアプラン」が必要になります。このケアプランの作成が我々の軸となる仕事です。あんず居宅支援事業所のケアマネジャーは、松戸市が保険者である利用者の支援をすること多いです。保険者である市町村に提出・請求するために、利用者に代わって山ほどのケアプラン関係書類を準備しなければなりません。いつも訪問先では笑顔であるケアマネジャーも事務所に戻れば“真顔”です。紙（書類）の山に埋もれながら、また紙を作成し、「印鑑ください」と走り回ります。厚生労働省で決められた、この終わりの見えない書類づくりがどれだけ大変か…。ケアマネジャーって何をしているの？って聞かれても、一言ではとても伝えられません。

「なぜヘルパーが週2回必要なの？→財政の無駄使いはないですか？」「何に困っていて、でも利用者自身ができるのは何？→あると便利だからではなく自立支援の視点で」と根拠を書面にし、その計画を立て、毎月達成度を記録しています。気持ちは、松戸市内ですれ違う40歳以上の（介護保険料を納めている）方々に、「あなた、私たちの保険料・税金を公正に活用していますか？」と聞かれても「もちろん！」と答えられる仕事をしていたいと志しています。

もうひとつオマケ。ケアマネジャーの役割として、実際に利用者に係わっていただくサービス事業所の質の向上にもお役に立ちたいところです。同法人の訪

問看護、訪問介護、福祉用具貸与事業所も、たくさんのケアマネジャーからも選ばれる事業所になるよう切磋琢磨しておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

## あんず訪問看護ステーション新入職員紹介

【看護師 西島尚子】

はじめまして。今回あんず訪問看護ステーションでお仕事させていただくことになりました西島と申します。今までは、外科・整形・小児科・皮膚科・眼科・手術室など多岐にわたり病院での仕事に携わってきました。訪問看護は初めてですが、これまでの22年間の経験を活かして皆様のお役にたてますよう努力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

### 定期勉強会

●前回報告 3月18日（金）実施

テーマ＜地域交流カフェで考えたこと「自律と自立」＞  
講師 武井幸穂氏

【参加者感想】「日々のケアの中で自律と自立を支え、その人らしさを引き出すことができていると思います。それを言語化する努力が必要だと感じました。」

●次回学習会予定

日時：4月15日（金）18：30～19：30

テーマ：「ノーマライゼーション・エンパワメント・ICF…①」

\*場所：エコトピア六番館201号 \*参加自由

### ホームページができました！

★幸樹会ホームページUPされました！

<http://www.kouju-kai.or.jp/>

●からたち薬局

<http://ameblo.jp/karatachi-p/>

\*「からたち薬局 ブログ」で検索できます

●あんず訪問看護ステーション

<http://ameblo.jp/an-zu-kouju-kai/>

\*「あんず訪問看護ステーション ブログ」で検索できます

### 一籍にはたらしませんか！？

**看護師・薬剤師・介護職員・ケアマネジャーの方々。お待ちしております☆**

連絡先 一般社団法人幸樹会本部 中野三代子

住所：千葉県松戸市河原塚411-1-102

TEL：047-701-7550

E-mail：[miyoko-nakano@kouju-kai.or.jp](mailto:miyoko-nakano@kouju-kai.or.jp)

### 編集後記

新しい職種が仲間に加わったことで、在宅ケアについて色々な角度からの情報をお届けできるようになりました。心強いです。次回もお楽しみにしてください！  
(奥村万里子)